



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 安永

コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 浅井 裕久

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 0595-24-2122

平成23年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,206	13.1	1,061	△5.2	1,114	8.3	744	19.8
23年3月期第2四半期	16,982	77.4	1,119	—	1,029	—	621	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 740百万円 (19.9%) 23年3月期第2四半期 618百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	62.25	—
23年3月期第2四半期	51.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	29,402	—	11,025	—	37.5
23年3月期	28,211	—	10,428	—	37.0

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 11,025百万円 23年3月期 10,428百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、平成23年11月8日に公表しております「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	7.0	1,600	△42.3	1,500	△39.9	1,050	△39.2	87.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	12,938,639 株	23年3月期	12,938,639 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	975,083 株	23年3月期	975,004 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	11,963,604 株	23年3月期2Q	11,963,635 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成23年11月18日(金)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から半年が経過し、企業の生産活動は徐々に回復の動きが広がりましたが、欧米を中心とした世界経済の減速やそれに伴う急激な円高の定着を背景に、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である自動車業界においては、サプライチェーンの復旧に伴い、震災直後の生産の落ち込みを取り戻すべく回復傾向が続いております。

このような企業環境下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高192億6百万円（前年同期比13.1%増加）、営業利益10億61百万円（前年同期比5.2%減少）、経常利益11億14百万円（前年同期比8.3%増加）、四半期純利益7億44百万円（前年同期比19.8%増加）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### 【エンジン部品事業】

国内自動車メーカーの挽回生産により6月以降の生産量は回復したものの、震災の影響により売上高は124億16百万円（前年同期比2.3%減少）、営業利益は7億4百万円（前年同期比17.3%減少）となりました。

#### 【機械装置事業】

自動車向けの工作機械では、海外向けを中心に売上は増加しました。

一方、太陽電池関連では、中国向けワイヤソーの販売は前年同期に比べ増加しましたが、市場低迷を受け中国メーカーの設備投資に急ブレーキがかかっております。国内においては、ウエハー加工一貫ライン（洗浄機、セパレータ、検査装置を含む）の販売が売上に寄与しました。

その結果、売上高は54億59百万円（前年同期比82.8%増加）、営業利益は2億42百万円（前年同期比468.2%増加）となりました。

#### 【環境機器事業】

新規事業であるディスプレイシステム事業が売上に寄与したものの、利益面ではマイナス要因となりました。その結果、売上高は11億70百万円（前年同期比2.1%増加）、営業利益は59百万円（前年同期比61.0%減少）となりました。

#### 【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業およびサービス事業を含んでおります。

売上高は1億59百万円（前年同期比11.8%増加）、営業利益は13百万円（前年同期比44.3%増加）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億91百万円（前連結会計年度末比4.2%）増加し、294億2百万円となりました。

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8億52百万円（前連結会計年度末比5.0%）増加し、178億94百万円となりました。

この増加の主な要因は、現金及び預金の減少4億3百万円等がありますが、受取手形及び売掛金の増加12億25百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億40百万円(前連結会計年度末比3.0%)増加し、115億8百万円となりました。

この増加の主な要因は、有形固定資産の増加5億40百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4億79百万円(前連結会計年度末比3.6%)増加し、139億65百万円となりました。

この増加の主な要因は、未払法人税等の減少6億2百万円等がありますが、短期借入金の増加12億円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億14百万円(前連結会計年度末比2.7%)増加し、44億11百万円となりました。

この増加の主な要因は、長期借入金の増加3億16百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5億97百万円(前連結会計年度末比5.7%)増加し、110億25百万円となりました。

この増加の主な要因は、利益剰余金の増加6億1百万円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当社グループの当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間に比べ12億71百万円(前年同期比26.9%)減少し、34億64百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、92百万円(前年同期比97.1%減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11億2百万円等の増加要因及び法人税等の支払額9億35百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、14億64百万円(前年同期は7億74百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15億9百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、9億61百万円(前年同期は8億87百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入れによる収入12億円等の増加要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月13日に修正しております。詳細につきましては、平成23年10月13日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、タイで発生した洪水被害が当社グループの業績に与える影響は、現時点において不透明であるため、当業績予想には含めておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,868	3,465
受取手形及び売掛金	6,200	7,426
商品及び製品	987	881
仕掛品	3,194	3,579
原材料及び貯蔵品	1,340	1,450
繰延税金資産	337	280
未収入金	559	546
その他	817	489
貸倒引当金	△265	△225
流動資産合計	17,041	17,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,302	8,471
減価償却累計額	△5,532	△5,628
建物及び構築物(純額)	2,769	2,842
機械装置及び運搬具	20,752	20,685
減価償却累計額	△17,076	△17,470
機械装置及び運搬具(純額)	3,675	3,214
工具、器具及び備品	6,343	6,378
減価償却累計額	△6,011	△6,066
工具、器具及び備品(純額)	331	312
土地	1,911	1,913
建設仮勘定	873	1,820
有形固定資産合計	9,562	10,102
無形固定資産		
のれん	69	61
その他	79	68
無形固定資産合計	148	130
投資その他の資産		
投資有価証券	569	489
繰延税金資産	135	136
その他	1,234	1,127
貸倒引当金	△481	△478
投資その他の資産合計	1,456	1,275
固定資産合計	11,168	11,508
繰延資産		
開業費	1	—
繰延資産合計	1	—
資産合計	28,211	29,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,923	6,242
短期借入金	950	2,150
1年内返済予定の長期借入金	2,119	1,728
1年内償還予定の社債	60	60
未払金	2,277	2,270
未払法人税等	928	325
賞与引当金	526	475
工事損失引当金	10	11
訴訟損失引当金	38	38
設備関係支払手形	42	102
リース資産減損勘定	223	223
その他	384	338
流動負債合計	13,486	13,965
固定負債		
社債	240	210
長期借入金	3,120	3,436
繰延税金負債	51	7
退職給付引当金	68	74
役員退職慰労引当金	66	53
環境対策引当金	96	96
資産除去債務	83	74
長期リース資産減損勘定	569	458
固定負債合計	4,297	4,411
負債合計	17,783	18,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	6,631	7,233
自己株式	△330	△330
株主資本合計	10,558	11,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	81
為替換算調整勘定	△243	△215
その他の包括利益累計額合計	△130	△134
少数株主持分	0	0
純資産合計	10,428	11,025
負債純資産合計	28,211	29,402



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,982	19,206
売上原価	14,318	16,345
売上総利益	2,663	2,860
販売費及び一般管理費	1,543	1,798
営業利益	1,119	1,061
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	6	6
受取賃貸料	12	11
為替差益	—	39
貸倒引当金戻入額	—	30
その他	16	18
営業外収益合計	40	108
営業外費用		
支払利息	76	43
その他	53	12
営業外費用合計	130	55
経常利益	1,029	1,114
特別利益		
固定資産売却益	1	33
貸倒引当金戻入額	6	—
環境対策引当金戻入額	4	—
特別利益合計	12	33
特別損失		
減損損失	—	9
固定資産除却損	8	3
投資有価証券評価損	—	32
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	76	—
関係会社株式売却損	0	—
特別損失合計	85	45
税金等調整前四半期純利益	956	1,102
法人税、住民税及び事業税	349	329
法人税等調整額	△15	28
法人税等合計	334	358
少数株主損益調整前四半期純利益	621	744
少数株主利益	0	0
四半期純利益	621	744

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	621	744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△31
為替換算調整勘定	4	27
その他の包括利益合計	△3	△3
四半期包括利益	618	740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	618	740
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	956	1,102
減価償却費	1,003	798
減損損失	—	9
のれん償却額	1	7
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△33
有形固定資産除却損	8	3
投資有価証券評価損益(△は益)	—	32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26	△42
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	3
前払年金費用の増減額(△は増加)	65	96
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	60	△50
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	76	—
受取利息及び受取配当金	△10	△8
支払利息	76	43
為替差損益(△は益)	9	△33
売上債権の増減額(△は増加)	△592	△1,239
たな卸資産の増減額(△は増加)	△79	△373
仕入債務の増減額(△は減少)	831	312
前受金の増減額(△は減少)	484	△67
未収消費税等の増減額(△は増加)	△54	231
その他	291	282
小計	3,166	1,061
利息及び配当金の受取額	10	9
利息の支払額	△77	△43
受取補償金の受取額	201	—
法人税等の還付額	43	0
法人税等の支払額	△134	△935
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,210	92

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	110	0
有形固定資産の取得による支出	△823	△1,509
有形固定資産の売却による収入	1	35
貸付けによる支出	△188	0
貸付金の回収による収入	239	30
無形固定資産の取得による支出	△6	△5
関係会社株式の売却による収入	0	—
吸収分割による支出	△110	—
その他	2	△14
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△774</b>	<b>△1,464</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,200
長期借入れによる収入	—	1,251
長期借入金の返済による支出	△839	△1,325
社債の償還による支出	—	△30
配当金の支払額	△48	△133
その他	—	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△887</b>	<b>961</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	6
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>1,545</b>	<b>△403</b>
現金及び現金同等物の期首残高	3,190	3,867
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>4,736</b>	<b>3,464</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,706	2,987	1,146	16,839	142	16,982	—	16,982
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20	0	21	226	248	△248	—
計	12,706	3,007	1,147	16,861	369	17,230	△248	16,982
セグメント利益	851	42	153	1,047	9	1,056	63	1,119

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額63百万円には、セグメント間取引消去63百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「環境機器」セグメントにおいて、吸収分割による事業承継に伴い、当第2四半期連結累計期間において、のれん77百万円が発生しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,416	5,459	1,170	19,047	159	19,206	—	19,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	212	—	212	275	488	△488	—
計	12,416	5,672	1,170	19,259	434	19,694	△488	19,206
セグメント利益	704	242	59	1,006	13	1,020	41	1,061

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額41百万円には、セグメント間取引消去41百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。